

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成30年度取組結果】

団体名	株式会社 北九州ウォーターサービス
-----	-------------------

所管課	上下水道局 経営企画課
-----	-------------

<p>団体に対するミッション</p> <p>水道及び下水道事業に関する専門技術とノウハウ、公民協働体制の利点を最大限に発揮しながら、上下水道局の補完的役割を担うパートナー事業者として、市の水道事業及び下水道事業の効率的かつ安定的な運営に寄与するとともに、水道事業の広域化や海外水ビジネスなどの推進に貢献する。</p>
--

<p>行財政改革大綱における見直し内容</p> <p>運営について、市の政策の一翼を担い、市が直接担うより効果的かつ効率的な事業運営ができ、民間委託等できない、または適さないという役割に照らして妥当であるか、絶えず見直しを行う。</p>
--

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態	・公民共同企業体としての強みを最大限に発揮することで、上下水道事業運営の新しい担い手となり、民間企業の多様な顧客ニーズに応えるための企画力・マーケティング力を活用し地域にこだわらない事業展開を目指す。
-------------	--

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H28	H29	H30		R1	R2	R3	R4
	実績	実績	目標	実績	目標	目標	目標	目標
上下水道施設運転管理等の無事故	0	0	0	0	0	0	0	0
当期純利益（百万円）	53	51	22	23	37	39	39	39
収益に占める市受託事業以外の収益額（百万円）	66	87	73	95	40	40	40	40

ミッションの遂行状況の評価（平成30年度）

<p>団体における評価</p> <p>中核事業である市内事業については、技術継承としての研修を多方面で実施し、無事故運転を継続している。広域連携事業については、宗像地区水道施設維持管理等業務の履行も順調である。海外水ビジネス事業については、独自のノウハウを生かし積極的に新規案件を獲得できている。これらことから、上下水道局の補完的役割を担うパートナー事業者として、市の水道事業及び下水道事業の効率的かつ安定的な運営に寄与する事ができたものと認識している。</p>	<p>市の評価</p> <p>市内の浄水場や浄化センターの運転管理等業務のほか、宗像地区水道施設維持管理等業務、海外水ビジネス事業の推進など、局の補完的役割を十分に果たしており、評価できる。経営面では、昨年度に引き続き利益を確保することができ、順調であると考えられる。</p>
<p>今後の課題及び見直し内容（案）</p> <p>市内事業において堅調推移のため現行体制を維持する。広域連携事業の働きかけについては、引き続き局との連携を強化し案件活動を実施する。海外水ビジネス事業については、関係機関の勉強会等に参加するなど情報収集に努め、積極的に案件活動を実施する。</p>	<p>団体への改善指導内容（案）</p> <p>今後も、上下水道事業の効率的・安定的な運営とともに、広域化や海外水ビジネス事業の推進に局と連携して取り組むよう指導していく。また、会社としての自立性を高めるため、市からの受託事業以外の自主事業の拡大について引き続き指導していく。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	
<p>重要なライフラインである上下水道施設の運転を最も安全に遂行する体制を備えるとともに、市が推進する水道事業の広域化や海外水ビジネスにおいて一定の成果をあげるなど、市が直接担うより効果的かつ効率的な事業運営ができている。</p>	